

2020年7月22日

各学校 学 校 長 様  
各学校 教 職 員 様  
技術教育研究会会員 様

技術教育研究会北海道支部  
代表 平 舘 善 明 (帯広畜産大学)

## 技術教育研究会北海道支部 夏季研修会のご案内 (第2次案内)

初夏の候、貴職並びに会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、各学校や地域における教育実践及び教育活動に対し敬意を表します。

本研究会では、次代を担う子どもたちの調和のとれた成長・発達と未来の主権者として不可欠な技術的教養の獲得のために、技術・職業教育に係る関係者が集い、教育をとりまく諸課題の解決に向けたとりくみをすすめるとともに、教育課程や指導法の検討、教材・教具の開発などについて研究を重ねてきました。また、夏・冬の長期休業期間中には合宿研修会を開催し、実技研修や実践交流を実施しています。

今回は、目下の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の状況や影響を鑑みて、オンラインで実施する場合を想定した電子工作を伴う実習の授業を取り上げ、その教育方法の問題点と教育条件整備の諸問題について検討することを目的に双方向通信方式のオンライン実技研修講座も開催いたします。時節柄、何かとご多用のこととは存じますが、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

1. 主 催 技術教育研究会北海道支部
2. 開催期日 2020年8月11日 (火)
3. 会 場 オンライン会議システム Zoom にて実施
4. 研修内容 (1) 遠隔授業に関する諸問題について  
(2) 電子工作を伴う実習の遠隔授業体験(双方向通信方式)  
(3) 参加者による実践交流

### 5. 日 程

第1日 2020年8月11日 (火)

- 9:00 開会準備
- 9:10 ミーティングルーム開場
- 9:20 趣旨説明
- 9:30 実技研修講座 I・II
- 12:00 実践交流
- 12:30 閉会集会
- 12:45 ミーティングルーム閉場
- 13:00 ミーティングルーム再開場  
地域の技術見学会 (希望者のみ)
- 13:40 ミーティングルーム再開場

## 6. 実技研修講座

### I. 遠隔授業に関する諸問題について

技術教育研究会北海道支部

井川 大介

### II. 電子工作を伴う実習の遠隔授業体験(双方向通信方式)

久富電機産業株式会社

前野 弘吏

## 7. 実践交流（意見交換・教材紹介）

道内各地での技術教育の現状を交流します。

8. 参加申込み 2020年8月3日（月曜日）までに下記の事務局へ以下の内容を左記のQRコードあるいは、<https://forms.gle/zDhDdP4Uamr7LH1s5> から入力のうち、お申し込みフォームでお申し込みください。



①参加希望者お名前(ふりかな)②ご所属または勤務先名③研修会当日に接続可能な参加者個人の電子メールアドレス④研修会当日に着信可能な参加者個人の携帯電話番号⑤研修会当日の参加予定場所⑥研修会当日における通信方法⑦参加者希望者のご専門(電気・電子工学の場合は必ずお申し出下さい)⑧使用する端末の種類⑨実践資料・教材紹介の資料提供有無⑩事前送付のキット教材送付先について全て記載の上、送信ください。

9. 費用 (1) 参加費(一部日程参加・全日程参加問わず共通)は、1,000円です。

- (2) 技術教育研究会の会員は、参加費を徴収しません。

※ 技術教育研究会に現時点で未入会の方で、入会を希望される方は、年会費6,000円で本研修会の参加費が無料になります。入会方法の詳細や振り込み方法についてのお問い合わせは、技術教育研究会北海道支部研修会実施事務局まで電子メールでご相談下さい。

10. その他 (1) 実践交流の資料をご用意できる方は、pdfなどのデータをご用意ください。
- (2) 参加者希望者には、実技研修講座で使用するラジオキット教材を事前に勤務校等へ送付させていただきます。
- (3) 当日参加者が使用される通信端末の前ではんだ付けを行っていただきます。電子工作に必要な工具は、参加者それぞれで用意ください。
- (4) 使用する通信環境（勤務先のネットワークまたは個人のネットワーク）に不安のある方につきましては、別紙参加申込書に該当事項をご記入下さい。後ほど実施事務局よりご案内を差し上げます。
- (5) 当日に通信環境が安定しない場合も想定されます。参加申込書に記載された携帯電話へ連絡をさせていただく場合がございます。
- ※ 当会未入会の方につきましては、参加申し込み枠に限りがあります。事務局での振込確認の先着順で参加申し込み枠に達しましたら、会員外のお申し込み受付を〆切とさせていただきます。

(研修講座の内容紹介)

## I 「遠隔授業に関する諸問題について」

## II 「電子工作を伴う実習の遠隔授業体験(双方向通信方式)」

講師 久富電機産業株式会社 前野 弘吏 氏

これまでの対面型として行われている授業の代替策として行われている遠隔授業は、その有効性や意義を認めた上でも、将来的に、対面式の授業が全面的に遠隔授業に移行することは考えにくいでしょう。遠隔授業と個別的な学習とは、イコールではないにしても親和性があるため、遠隔授業が推進されていけば、その結果として、学びの個別化も進行することでしょう。しかしながら、個別化された世界と公共性とは相性が悪いという指摘もあります。

また、技術・職業教育により関わる問題として、技能の教授を含んだ教育活動（実習等）は、遠隔授業やソーシャルディスタンス（社会的距離）を保った状態とはなじまないことは、明白であるように思われます。けれども、遠隔授業になじむ教育目標＝内容と、そうでないものとは、何が異なるのでしょうか。そして、それらの違いがもつ意味は何かということに関して、十分に明らかにはなってはいなく、今後の課題といえます。

そこで本講座では、送信者側から多数に対して双方向通信でいわゆるオンライン授業を行った場合の技能指導上の問題点について論議します。事前に郵送で「53箇所のはんだづけを伴うライト付きラジオのキット教材」を参加者に送付いたします

広島県から中継する講師の説明と指示で、参加者はウェブカメラの目の前で事前に実施事務局から送付されたキット教材を参加者がご自身で用意された電気はんだごてなどの工具を使用して、実際に組み立てをしていただきます。完成させるまで端末の前で、生徒のように個別で学びながらも参加者が交流しながら遠隔授業の実験を体験していただくこととなります。これによって教師が遠隔授業で実況しながら実習を行う時の手法はもちろんですが、こうした授業形式の場合に子どもたちがどのようなことで不便を感じてしまうかを参加者が体験できる講座です。

初めてオンライン会議ツール zoom を使用するという方にもどのようなものなのかという簡単な説明から始めたいと思いますので、お気軽に参加いただきたいと思います。電子工作そのものの指導が苦手な方、校外研修が困難な方にとってもおすすめの講座です。

キットが送られてきます。参加者は説明を受けながら組み立てます



実技研修講座IIで製作するキット教材

◇地域の技術見学会では、北海道北見市立北小学校の見学を予定しています。

2020年度4月にコンピュータ教室のコンピュータが全台更新された室内と、図工室では5年前に卓上ボール盤が初めて整備された様子や小学校ならではの軽量化された玄翁の整備に関する実際に参加者の端末から見学を行う予定です。

## 11. お問い合わせ

お問い合わせ専用 QR コードからでも可能です

技教研北海道支部研修会実施事務局

事務局電子メール [gikyouken@gmail.com](mailto:gikyouken@gmail.com)



お問い合わせ QR コード